

一般財団法人とちぎメディカルセンター 機関紙

TMC通信

2018.10. VOL.9

発行：一般財団法人とちぎメディカルセンター
 住所：〒328-0043 栃木市境町27番21号
 TEL：0282-20-1281 FAX：0282-25-1137
 E-mail：honbu@tochigi-medicalcenter.or.jp
 http://www.tochigi-medicalcenter.or.jp/

▼ご意見・ご感想、身近な情報をお待ちしております。



総合健診センター 胸部検診車

リニューアルのお知らせ



公益財団法人JKA検診車整備補助を受け、平成30年10月1日より最新の装置を搭載した胸部検診車が稼働しました。



外 観



内部（撮影台）

この検診車は、全国初のデジタルX線装置（FPD CsI）を搭載したことで、胸部レントゲンを今までよりも低線量で撮影することができ、人体への影響を少なくしております。また、撮影台についてもX線装置と連動型で、撮影パネルの下にスペースを設けることで、今まで不可能だったイスに座ったまま撮影できる装置を導入しました。



操作室



待合室

県内各地を巡回検診することで、多くの受診者の胸部疾患や肺がんの早期発見に役立てていきますのでご期待ください。

TMCの顔

平成30年4月より、当法人に新たな仲間が増えました。
今回は6名の職員を紹介いたします。

木村 鮎実 (きむら あゆみ)

出身校・・・国際医療福祉大学

施設名・・・とちのき

職種・・・作業療法士



入職当初は職場にも慣れず不安な気持ちで一杯でしたが、スタッフの方々や上司の方々から励ましや御指導をいただいて、この病院の雰囲気や業務にも慣れてきました。悩む事もありますが、やりがいをととても感じています。

今後の抱負

まだまだ未熟ですが、患者さん1人1人に合ったリハビリを提供し、支えになれるよう努力していきたいと思ひます。

舟橋 莉香 (ふなばし りか)

出身校・・・国際医療福祉大学

施設名・・・しもつが

職種・・・言語聴覚士



臨床において、生活環境の異なる患者さん一人一人に対し、何を目標とし、どんなリハビリを行ったらよいか考えることが本当に難しいことであると実感しています。しかし、患者さんがリハビリを通してよくなられていく姿を見ると、達成感を得られます。

今後の抱負

知識、経験の不十分さを実感しています。今後は分からないことは分からないままにせず、どんなことも吸収して自分の知識を増やしていきたいと思ひます。

石川 佳美 (いしかわ よしみ)

出身校・・・中央福祉医療専門学校

施設名・・・介護老人保健施設とちぎの郷

職種・・・介護福祉士



学生時代の実習とは違い、実際の現場での一職員としての責任、介護のやりがいを実感しています。要領良く動けず周りに迷惑をかけてしまい、できない自分に苛立つこともありましたが、そんな時、何人かの利用者様に「いつもニコニコだね、見てるこっちも笑顔になっちゃうよ」と言っていただき、「介護福祉士になって本当によかった」と感じました。

今でも、毎日が学びの連続です。

今後の抱負

これからも覚えること、考えていくことが多くあると思ひます。

目の前のことに集中し過ぎてしまうことがあるため、それは長所として生かしながら視野を広く持ち続けます。利用者様やご家族様の思いをしっかりと受け止め、根柢のある介護を実践していきます。

岡田 治樹 (おかだ はるき)

出身校・・・星薬科大学

施設名・・・しもつが

職種・・・薬剤師



少しずつ業務に慣れてきてはいますが、まだまだわからない事も多く、優しい上司・先輩方に助けられてばかりです。

今後の抱負

薬剤師としてのスキルを身に付け、いち早く皆様から信頼されるようになりたいと考えております。

川島 優花 (かわしま ゆか)

出身校・・・マロニエ医療福祉専門学校

施設名・・・しもつが

職種・・・看護師



入職して3ヶ月が経過しましたが、まだまだ知識不足により分からないことばかりで、自分の未熟さを痛感する毎日です。

ですが、少しずつではありますが、入職当初と比べると、環境に慣れ、一人で行える技術も増え、「看護師」という仕事にやりがいを感じています。

今後の抱負

まだまだ戸惑うことばかりですが、一日でも早く、一人一人の患者さんに寄り添いながら看護を提供できるように頑張っていこうと思ひます。そのために、少しでも多くの知識・技術を習得できるように、様々な経験を積み、日々努力していきたいと思ひます。

新村 直美 (にいむら なおみ)

出身校・・・栃木県南高等看護専門学院

施設名・・・とちのき

職種・・・看護師



入職したての頃は、プリセプターや先輩たちの後ろをついていくのがやっとでしたが、指導をいただきながら徐々に一人でラウンドも出来るようになってきました。業務も出来ることが少しずつ増え、自信が少しずつついてきたと思ひます。そして、看護師としての責任も感じるようになりました。先輩たちの行動を見て学ぶことも多く、日々アドバイスをいただいたりして成長できたと思ひます。私も患者さんにとって必要なことは何かを考え、ケアを行っていきたくと思ひます。

今後の抱負

今までは自分自身の業務で精一杯でしたが、周りを見て、行動できるようにしていきたいと思ひます。また、疾患、病態、看護技術等の知識は身に付いていないので、患者さんと関わりながら知識・技術を深めていきたいと思ひます。

『TMCの彩』

今回の TMC の彩は、H 30.7.1 より新たに設立された『総合連携推進本部』の業務内容や取組みについて紹介いたします。

とちぎメディカルセンター総合連携推進本部のご紹介

この度、法人運営における更なる組織体制の強化とともに地域完結型「とちぎモデル」の具現化を推進するため、組織体制の見直しを行いました。

組織体制見直しの一つとして、「しもつが」、「とちのき」、「総合保健医療支援センター」の3施設間と、地域住民、医療機関、医師会及び行政機関等の内外を問わず全般の連携を統括する部署として従来の「地域連携本部」を発展的に改組し「総合連携推進本部」を設置しました。

当本部の役割は、下の図に示したとおり地域完結型医療を目指すとちぎメディカルセンターの象徴的な組織となります。

解決すべき課題は山積していますが、よりよい連携体制の確立に努力する所存です。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



総合連携推進本部の役割

市民公開講座

地域の身近にある病院として、皆さんの健康づくりにお役立ていただくために公開講座を開講しております。法人の各専門職が健康維持と病気に関する講演と実技・相談などをさせていただきます。是非、この機会にお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

しもつが

日 時：10月24日（水）11：00～
演 題：感染インフルエンザ対策
演 者：感染管理認定看護師 別井 一之

日 時：11月28日（水）11：00～
演 題：「血糖値が高い・糖尿病の気がある」と言われたら…
演 者：糖尿病療養指導士 石川 恵子

日 時：12月19日（水）11：00～
演 題：とちぎメディカルセンター訪問看護ステーションの役割
～訪問看護師・訪問リハビリとは～
演 者：訪問看護ステーション 看護師 秋山 初江

日 時：1月23日（水）11：00～
演 題：物忘れについて
演 者：認知症看護認定看護師 牛込 和子

とちのき

日 時：10月17日（水）11：00～
演 題：インフルエンザの予防について
演 者：看護師 渡邊 真由美

日 時：11月21日（水）11：00～
演 題：歩いて血糖をコントロールしよう！
演 者：糖尿病療養指導士 麻田 信明

日 時：12月12日（水）11：00～
演 題：尿漏れは予防できる！！
演 者：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 江田 美由紀

日 時：1月16日（水）11：00～
演 題：患者さんに知ってほしい薬の知識
演 者：薬剤師 北岡 俊也

TMC出前講座のご案内

地域の身近にある病院として健康維持と病気に関する基礎知識を紹介し、皆さんの健康づくりにお役立ていただくために、出前講座をご用意しております。

皆さんが「知りたい」講座について、お申込みください。法人職員（講師）が、皆さんのもとへ伺います。

- | | |
|--|---|
| <p>①講座名：「病院への上手なかかり方」や「生活習慣病の予防」など、たくさんの講座をご用意しております。内容は、ご相談ください。</p> <p>②参加人数：1講座につき10名以上のご参加をお願いいたします。</p> <p>③開催場所：お申込者側で、栃木市内の会場をご用意いたします。</p> | <p>④開催日：平日9時～17時（土日祝日を除く）※他の時間帯をご希望の際は、ご相談ください。</p> <p>⑤費用：無料</p> <p>⑥お申込先：〒329-4407 栃木県栃木市大平町川連420-1
TEL 0282-22-2551(内線2951) FAX 0282-21-7198
担当：総合連携推進本部</p> |
|--|---|

職員を募集しています

とちぎメディカルセンターは地域完結型医療を目指しています

募集職種

医師、看護師、准看護師、介護福祉士、看護補助（介護補助）など

採用試験

日時：随時受付いたします（定員に到達し次第締切）
内容：面接試験、作文試験（新卒者に限る）

問い合わせ先 ☎ 0282-20-1281 担当：総合管理部

法人運営理念

「心」の通う優れた医療を提供し、地域から信頼され愛されるメディカルセンターを目指します